

おおま 議会だより

大間中学校百年プロジェクト
子ども議会開催

令和7年2月1日発行 No.124



主な内容 12月定例会

- P2 第4回定例会
- P3 一般質問
- P4 全員協議会・特別委員会
- P5 議会のうごき・議会のできごと①
- P6 議会のできごと②・編集後記

【発行】青森県大間町議会

【編集】議会広報編集委員会

〒039-4692 青森県下北郡大間町大字大間字奥戸下道 20-4 電話 0175-37-3029

第4回 12月定例会

令和6年第4回定例会を12月6日に開会し、12月11日に閉会しました。
本議会に提案された議案16件はすべて原案のとおり承認、可決しました。

令和6年度 補正予算

一般会計

歳入歳出それぞれ2,783万円を追加し、歳入歳出予算の総額を48億8,369万円とした。

歳入の主なるもの

国庫支出金

○国庫負担金で保育所運営費負担金434万円、児童手当負担金1,407万円を追加計上。

県支出金

○県負担金で保育所運営費負担金122万円、県補助金で学校給食費無償化等子育て支援事業交付金581万円を追加計上。

諸収入

○雑入で原子力発電所対策諸費用120万円を追加計上。

歳出の主なるもの

総務費

○総務管理費の財産管理費で、財政調整基金積立金8,000万円を減額計上し、学校給食費無償化等子育て支援基金積立金581万円を計上。

○企画費で下北地域広域行政事務組合負担金252万円を追加計上。

民生費

○児童福祉費で乳幼児はつらつ育成事業費補助金返還金545万円、大間保育園運営費452万円、児童手当2,237万円、うみの子保育園指定管理料770万円をそれぞれ追加計上。

土木費

○道路橋梁費で道路維持補修工事232万円を追加計上し、住宅費で町営住宅根田内団地

建替工事150万円を減額計上。

消防費

○常備消防費で下北地域広域行政事務組合負担金970万円を追加計上。

公債費

○利子で一時借入金利子250万円を追加計上。

予備費

○財政調整いたしまして157万円を減額。

専決処分

○行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律等の一部改正により、改正された国民健康保険法が令和6年12月2日から施行されることに伴い、大間町国民健康保険条例の一部を改正。
○衆議院議員総選挙費及び財源調整の予算措置。

条例の一部改正

○議員の期末手当について支給割合を改定するため、議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例。

○特別職員の期末手当の支給割合を改定するため、大間町特別職員の給与に関する条例。

○青森県人事委員会の勧告を踏まえ、一般職職員の給料月額、期末手当、勤勉手当及び寒冷地手当の支給割合等を改定するため、大間町職員の給与に関する条例。

○青森県内全市町村の国民健康保険税水準が統一されることに伴い、課税算定方式の変更を行うため、大間町国民健康保険条例。
○下水道事業計画の変更に伴い、大間町水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例。

条例の制定

○青森県学校給食費無償化等子育て支援交付金の一部を次年度以降実施する事業の財源として活用するため、大間町学校給食費無償化等子育て支援基金条例。

規約の変更

青森県市町村総合事務組合の構成団体である西北五環境整備事務組合が令和7年3月31日をもって解散することに伴い、

※青森県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び青森県市町村総合事務組合規約の変更。
※青森県市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体の数の減少及び青森県市町村職員退職手当組合規約の変更。

協定の締結

むつ市との間において、定住自立圏形成協定の一部を変更する協定を締結。



堀 祐介 議員
質問時間 60分

複合災害について

石川県能登半島において、地震・豪雨災害が発生し、自治体として地震や津波だけでなく豪雨などによる、いわゆる複合災害について対策の検討・協議は？

町長 複合災害が起きた場合、地域防災計画にある風水害・地震編に基づき人命を優先した行動となる。

1月に発生した能登半島地震では、半島部の弱点である状況把握の困難性、支援のために進入・搬入の困難性などが浮き彫りとなり、ライフラインの復旧に時間を要した。支援が行き届き難い状況が続き避難生活が長期化している。

下北半島もその地形から同様の被害が発生する可能性がある。

また、原子力防災については、まだ策定していないが、運転開始に向けて避難道の整備が進むよう取り進む。

再質問 半島の最北に

住んでいる我々にとっても決して他人事ではない。下北半島は、原子力施設が立地されている地域、原子力防災を含めた複合災害が発生しないと限らない。

備えという観点から、地方自治体だけの問題だけではありませんが、町としての考えや取り組みは？

町長 しかるべく運転開始に向け適切に取り組んでまいりたい。

再質問 原子力災害を含む複合災害の避難計画は、自治体での計画は限界がある、矛盾点も例えば、地震が発生して原子力災害が発生した時に大津波警報が発令されたというシチュエーション、原子力防災の場合は家から出ないでくださいという問題もありませんか？

放射能の問題で、倒壊してしまつたら海沿いの人たちは？などの矛盾点が発生します。

こういう複合災害に対しての計画の策定を、国に訴えていく考えはあるのか？

町長 原子力災害に係る避難計画を作成する場合、東通村の作成時の場合、県や消防署との打ち合わせや協議、青森県防災会議での議論を踏まえての作成となつており作成作業を進めていきたい。

大間百年プロジェクトについて

大間中の生徒たちによる大間百年プロジェクト子ども議会が2021年から開催されています。百年後の大間がどのような町になっていくのか？町長の私見は？

町長 就任以来、笑顔満開の町を目指して施策を進めてまいりました。今後さまざまな施策を展開していきたい。

さまざまな施策を継続していくことにより、百年後も、町の施策・政策が未来の子どもたちや町民の笑顔につながっていくと思っております。

今後町民の声を聴きながらさらなる施策を進めていき、笑顔満開の町、夢のある大間町につなげていきたい。

再 私が思う100年後は、何もしなければ人口は数百人、その内75歳以上が7割、出生も年1名くらい、状況、生産年齢人口も2割、行政サービスも厳しくなる。

最悪の場合は、大間町

が消滅する可能性、最悪のケースです。現実的な話をすれば、東京1極集中から地方分散型にシフトされ、省庁の分散化、大手企業・大学・専門学校なども都市部から地方に移転して、オンライン事業の進化により、医療の発展・テレワークの事務的な仕事も地方でできるようになり、車などの移動手段も環境も改善され、生産年齢が増え、さらにはインバウンドの効果により外国人が増え、移住が進む。そういうことも0ではない。

努力していけばの願いなのでご答弁はおりませぬ。

部活動の地域移行について

教育委員会は、令和8年に中学校の土日の部活動を地域移行する予定だが、移行計画の概要は？また、完全地域移行の考えはあるのか？

町長 大間町においては、下北郡の動向を踏まえつつ当町の地域移行は令和8年度からとし、可能な部活動から段階的に進めていきたい。

また、他市町村の広域的な連携も念頭に入れ進めていきたい。

そして、地域移行可能な部活動にあつては、休日の完全移行を目指し、同時に平日の地域移行へ

できるよう進めていく。今後の予定としては、今年度末頃を目途に地域移行推進計画を策定し、来年度は、協議期間と位置づけ、町スポーツ協会や各種団体と協議を重ね、令和8年度の部活動地域移行をスタートさせたい。

再質問 地域移行される場合、責任元は教育委員会になるのか？

教育長 基本的には、地域クラブが運営の第一になるが、町も当然関与していかなければならない。

さまざまな地域の町村の動向を見ながら、慎重に検討してまいりたい。

再質問 地域団体で何かあった場合、責任元で取れない場合も発生すると思いませんか？

その中でやっぱり委員会がどのよう携わり、今後の検討課題、令和8年に移行可能な部活は？

教育長 7年度でそれぞれ準備期間ということにしていくので、今現在どれが移行するということはまだはっきりしていません。

指導者が多いので、剣道が一番可能性にある。

再質問 さまざまな理由で地域移行できない部活がある。その場合、現状のまま残すのか？

再質問 現状のまま残すと結局は、先生方に負担がかかってしまう。部活に思いある先生方には賃金を払うということでは？

教育長 賃金の部分は、確認して進めたい。

再質問 地域移行した部活が、中学校施設以外で活動する場合の移動手段は？

教育長 基本的には、学校の敷地内で行う。状況によっては、町のバスが使用可能なのか、負担をかけないよう検討する。

再質問 文化系、例えば、吹奏楽部は指導者の面からいっても難しいところがある。楽器の管理も、移行はどのように考えているか？

教育長 吹奏楽が正直なところ大変難しい、指導者がいない。地域移行しても吹奏楽は、最終的には部活として残さざる得ないところが一番危惧される。

再質問 地域移行にどれぐらいの予算は想定？

教育長 これから正に協議ということになります。

例えば、大会とかそういうのは町のバスを使用する、基本的には親の負担も増えると思えます。しかし、親の負担、保護者の負担はできるだけ少なくする方法を考えていかなければならない。

全員協議会

〔令和6年11月15日〕

案件

一、大間町再生可能エネルギー基本計画（案）及び大間町再生可能エネルギー推進協議会の設置について

・基本計画の概要

- ① 農林漁業の健全な発展と調和のとれた再生可能エネルギー電気の促進により農山漁村の活性化に期する。
- ② 整備を促進する区域としては、奥戸地区（一ツ石地区・大川目地区・焼畑地区）とする。
- ③ 発電設備の種類としては、風力発電とする。



二、大間町学校給食無償化等子育て支援基金条例について

・条例設置の目的

- ① 学校給食費無償化等子育て支援に必要な経費に充てるため、支援基金条例を設置する。

〔令和6年12月9日〕

案件

一、（仮称）大間町学校給食センター基本計画の修正について

・修正の概要について

は、当初計画では、大間町・風間浦村・佐井村の北通り三ヶ町村での計画であったが、修正版では、大間町と風間浦村の2町村で実施することとなった。そのため、提供食数・職員数・配送時間等の変更、センターの建設面積及び敷地面積等の変更の説明があった。

特別委員会

〔令和6年12月9日〕

〔大間原子力発電所対策特別委員会〕

案件

一、新規制基準適合性審査の対応状況について

・震源を特定せず策定する地震動、津波の審査

については、第67回・68回目の審査を終えた時点で審査会での了承を得た事は、大いに評価すべきと思われる。しかし、今後の工事再開と運転開始時期は予定通り行われるかは、疑問のあるところである。大間原発の進捗状況により、町経済状況が大きく変わってくると思われることから今後に期待するものである。

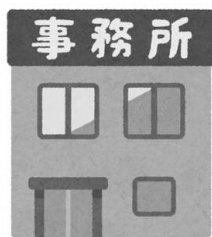
その他

一、電源開発(株)函館駐在事務所での取組状況について

・電源開発(株)函館駐在事務所は、平成29年7月に設立され、現在は5名の所員で職務に専念されている。

事務所設立の目的は、① 函館市への機動的な情報の提供

② 円滑な運転開始に向けて、函館・道南地域における理解醸成活動、地域の情報収集等を実施している。



議会を傍聴しませんか

町の動きを知るよい機会です。

多くの方が町政に関心を持ち、議会を傍聴することが議会活性化の一つです。

12月定例会の傍聴者は35人でした。次の定例会は3月の予定です。

皆さんの傍聴をお待ちしております。

（詳しくは議会事務局まで）

議会のうごき

令和6年10月～令和7年1月

10月

- 26日 第46回大間町音楽祭
- 26日～27日 第49回大間町町民文化祭
- 28日 例月出納検査（宮野議会選出監査委員）
- 29日 第51回青森県交通安全母の会連合会「むつ・下北ブロック研修会」（議長）
- 30日～11月2日 第14回全国原子力発電所立地議会サミット（東京都・議員及び事務局）

11月

- 5日～6日 知事を囲む行政懇談会（青森市・議長及び事務局長）
- 8日 下北郡町村議会議員及び事務局職員合同研修会（むつ市・議員及び事務局）
- 12日～14日 青森県選出国會議員との懇談会及び第68回町村議会議長全国大会（東京都・議長及び事務局長）
- 15日 議会議員全員協議会
- 20日～22日 全国原子力発電所所在市町村協議会全体会議（東京都・議長及び事務局長）
- 27日 例月出納検査（宮野議会選出監査委員）

12月

- 1日 第39回大間町少年柔道大会
- 5日 議会運営委員会

- 6日 第4回大間町議会定例会開会
大間原子力発電所対策特別委員会
議会議員全員協議会
- 9日 総務教育常任委員会及び産業民生常任委員会
- 10日 一般質問・議案審議
議会広報編集委員会
- 11日 議案審議
第4回大間町議会定例会閉会
- 17日 大間中学校こども議会（議長）

令和7年1月

- 10日 電源開発(株)社長年始挨拶来庁
議会広報編集委員会
- 11日 令和7年船魂祭
- 16日 下北郡事務局長会議（佐井村・事務局長）
- 19日 第61回大間町少年剣道大会
- 22日～24日 第14回全国原子力発電所立地議会サミット実行委員会合同会議（東京都・議長及び事務局長）
- 23日 議会広報編集委員会
令和7年大間町新年祝賀会
- 25日 大間町消防団出初式
- 27日 例月出納検査（宮野議会選出監査委員）

大間町議会の出来事



開会式の様子



会場の様子（参加議員）

東京都・品川プリンスホテルにおいて全国の原子力発電所立地地域市町村議員が集まり、2日間にわたり各分科会に分かれて参加しました。

第一分科会「地域振興・地域共生・原子力関連財源」
参加議員 石戸秀雄・吉田安男

第二分科会「エネルギー（原子力）政策・GX（脱炭素）・エネルギー安全保障」
参加議員 堺祐介・傳法正広

第三分科会「原子力防災（安全対策）・避難計画・再稼動・原子力規制」
参加議員 竹内勝雄

第四分科会「核燃料サイクル・中間貯蔵・最終処分」
参加議員 宮野昭一・傳法厚史

第五分科会「廃炉・リプレイス・次世代革新炉・新技術・人材育成」
参加議員 佐々木信彦・山崎一利

第14回全国原子力発電所立地議会サミット

令和6年10月31日～11月1日

大間町議会の出来事

下北郡町村議会議員及び事務局職員合同研修会

令和6年11月8日

下北郡町村議会議長会主催による下北郡町村議会議員及び事務局職員合同研修会が令和6年11月8日（金）むつ市・むつグランドホテルにおいて開催されました。

研修会では、講師に青森県男女共同参画センター部長・高橋一枝氏をお招きし「各種ハラスメントの基礎知識〜仕事の質につながる認識のアップデート〜」をテーマに講演いただきました。



会場の様子（参加議員）

電源開発株 菅野社長来庁

令和7年1月10日

電源開発株式会社 菅野等代表取締役社長が新年挨拶のため大間町役場庁舎を訪問いたしました。



挨拶の様子（菅野社長）



会場の様子

大間中学校生徒による子ども議会開催

令和6年12月17日

大間中学校3年生による大間百年プロジェクト 子ども議会が、令和6年12月17日（火）大間町議会議場において開催されました。テーマ「郷土を創る【未来のために今できることを考える】」、探究課題「よりよい社会の実現に向けた、地域と自己の具体的な将来像（町づくり・社会参画）」について質問や提案を行い、それに対して大間町長が答弁しました。大間町の担い手としてこれからも思いを持って頑張ってほしいと思います。

子ども議長・議員の紹介

- 子ども議長 一 番 三重 怜士 議員
- 二 番 傳法 昂士 議員
- 三 番 伝法 愛未 議員
- 四 番 野村 愛美 議員
- 五 番 南 由愛 議員
- 六 番 新田 岳斗 議員
- 七 番 堺 愛唯 議員
- 八 番 萬谷 姫奈 議員
- 九 番 岡村 栄飛 議員
- 十 番



議場の様子（大間中3年生）

編集後記

令和7年も、ひと月が経過しました。巳年は、「蛇は古代から再生や永遠の象徴」とされ、皮を脱ぎ捨て新たな姿に生まれ変わる象徴となっています。こうした意味から、新しい挑戦や変化に対して前向きな姿勢を示す年とも解釈されています。

「蛇の道は蛇」のことわざから、今年も知恵と経験が活かされる一年となることが期待されます。

さらに、この一年の町民皆様方の家内安全・大漁祈願・ご多幸・ご健勝をお祈り申し上げます。

記【傳法（正）】

議会広報編集委員

委員長

堺 祐介

副委員長

傳 法厚史

委員

傳 法正広
吉 田安男
山 崎一利
佐々木 信彦